

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
ハッピー相模大野ジョイモアーズ教室		2025 年 10 月 1 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	活動に合わせて部屋を使い分けている。	保護者様とも相談しながら支援室の調整をしている。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		規定を守って職員のスケジュールを作成している。集団支援の際に利用児童の状況に合わせて補助の指導員を配慮している。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	小学生児童が幼児と同じ時間に来所することもあるので、事故が起こらないように声を掛けたり、廊下の角に表示をつけたりしている。	窓やトイレが教室にないのは不便だと感じる。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		・支援後は毎回アルコール消毒を行っている。 ・集団支援は広い支援室で実施するなど活動によって部屋を使用している。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		支援室の他に面談室があるので、利用している時間の相談等も対応している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1	教室会議を行い、目標を立てて共有して取り組んでいる。	目標を決め実施した後、振り返りが丁寧に出来ないことがある。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	毎年実施している。	実施後教室に意見を反映させるまでに時間を要することがある。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		毎月職員会議を実施している。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2	一年に一回内部監査を実施している。	第三者評価は実施していない。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		必要な研修を受講している。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		個別支援計画をもとに支援内容を作成し、支援後には保護者にフィードバックで課題のねらいやお子さまの取り組みなどをお伝えしている。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		保護者に聞き取りを行い、個別支援計画を作成している。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		個別支援計画の内容を検討する会議を実施したり、個別支援計画作成の際に他職員に支援中の様子などを聞き共有したりしながら作成している。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		全ての職員が確認してから支援に入っているようにしている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		アセスメントシートを活用している。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		個別支援計画の裏面に、その内容を記載し保護者にも共有している。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	その日のプログラムは担当職員が考えるが、個別支援計画書やケース記録等で職員全員が把握できるようにしている。 また、職員に相談しながら支援を考えている。 個別の時など支援内容で困った時にはみんなで話し合っている。	日々のプログラム作成は個人で行うことが多い。必ず共有事項や現在の様子は記録等を通して確認することを引き続き行っていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		プログラムが固定化しないよう記録を振り返りながらプログラムを組み立てている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		集団支援だとよりお子さまのニーズに合っている場合は、保護者に集団参加を促すなどお子さまに合った支援を提供できるようにしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	その日のスケジュール確認や共有事項等を朝礼・終礼で話し共有している。	毎支援開始前ではなく、一日のはじめと終わりに朝終礼を行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	各担当に今日のお子様の様子などを伝えている。お子さまの様子や気になった点、フィードバックで出た相談などを共有している。	研修や面談、支援時間の都合でその日中に共有できないことがある。その場合、記録等で翌日には共有出来るようにしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		教室全体で些細なことも記録に残すように意識している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しを必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		ケース会議や日々の支援の共有から必要に応じて見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8		組み合わせて支援出来ている。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	8		工作課題で何を作るか決める場面を設けるなど、自分で考えて行動する力に繋がる支援を取り入れている。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1	他の機関、他事業所との連携を実施している。	全利用者様では実施に至っていない。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		小学校等と連携をし課題の発見や各場所での役割分担等を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		連携を行い、お互いの場所での様子を共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	2	自社内の場合は、積極的に行っている。 保育園などの様子は保護者から聞き取り情報を共有していただいている。	・就学前の機関とはあまり連携ができていない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	3	小学校通学中の移行などのに関して、引継ぎを行えるように書面や口頭での情報共有をしている。	・学校を卒業した方が1人もいない。 ・現在、中学生以上の利用がない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	4	連携はできている。	助言や研修を受ける機会はなかった。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	7	実施する予定がある。	今後繋がりを作っていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	5	代表者一名が参加し情報を共有している。	一部の職員のみ参加になっている。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		フィードバックや面談などでお話しし共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		専門職が企画した勉強会に参加していただいたり、家族支援の動画の案内を行ったりしている。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に実施している。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		保護者や本人のニーズを取り入れながら支援を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		内容と利用者の意向や願いに相違がないか確認して提示している	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		支援終わりのフィードバックや、面談などで話をお聞きし助言や家庭での関わり方などの提案を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	1	・保護者向けイベントを積極的に行っている。 ・座談会を設定し交流の機会を設けている。	今後回数を増やして実施していきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		意見をいただいた際に、詳しくお話を聞き事実確認をして迅速に改善できるよう努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		ブログやハッピー通信の発行、事業所内にてポスターやコノベルにてイベント等の案内を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		鍵のかかる場所に保管している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		フィードバックの際に保護者の思いの聞き取りができるよう努めている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5	地域とのつながりを作るために情報収集を行っている。	今後実施予定。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		避難訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		ビルの訓練にも参加している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		契約時に確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	7	1	『アレルギー同意書』により把握し、必要に応じて医師との連絡体制を講じている。	今までアレルギーの関わる食べ物を提供することが少なかった。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		点検や避難訓練の実施などを行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		避難訓練に参加していただくことで周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		支援内で危険なことは報告として挙げ、ファイリングしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		職員全員が研修を受けている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	1	必要なお子さまには適切に対応していく。	現在対象のお子さまはいない。	